

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	韓国語Ⅱ（KoreanⅡ） 112014-14000					担当教員	権 五景 （グォン オーギョン）		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目								

① 授業のねらい・概要
韓国語による基礎的な日常会話ができることを目指す授業である。授業内容は韓国語Ⅰの復習と動詞・形容詞の活用が中心となる。なお、後期は検定試験の準備も並行する形で行う。また、授業内容は初級と中級の間の水準である。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
コミュニケーション能力
③ 授業の進め方・指示事項
教科書の内容に基づいて、会話を繰り返す。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
韓国語Ⅰの履修が望ましい。
⑤ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 韓国語文章の日本語訳ができるようになる。 (ii) 長岡の道案内ができるようになる。
⑥ テキスト（教科書）
李志暎（2010）『できる韓国語 初級Ⅱ（新装版）』アスク
⑦ 参考図書・指定図書

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S 到達目標を越えたレベルを達成している	A 到達目標を達成している	B 到達目標達成にはやや努力を要する	C 到達目標達成には努力を要する	D 到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 日本語訳	辞書さえあればほとんどの韓国語文章の日本語訳ができる	韓国語文章の日本語訳がかなりできる。	不規則変化に戸惑いながらなんとか文脈上の間違いなく日本語訳ができる	教員の助力を得ながら日本語訳ができる	教員の助力があっても日本語訳ができない
(ii) 道案内	道案内が十分できる	筆談を交えながら道案内ができる	辞書、筆談、英語を交えながら道案内ができる	教員の助力を得ながら道案内の会話ができる	教員の助力があっても道案内の会話ができない

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%	10%			20%		100%
(i) 日本語訳ができるようになる	25%	10%	5%			10%		50%
(ii) 簡単な会話ができるようになる	25%	10%	5%			10%		50%
フィードバックの方法	添削して返却する。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
宿題をしっかりこなすことが、会話力に直結する。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	「～ことができます」、「～（動詞）に」	大声でパターンを暗記する。	60分

2	「-てはいけません」	大声でパターンを暗記する。	60分
3	「-てください」、「-でしょうか」、 「-ましょうか」	大声でパターンを暗記する。	60分
4	「아서」、「어서」、「해서」	大声でパターンを暗記する。	60分
5	動詞の現在連体形	大声でパターンを暗記する。	60分
6	動詞の過去連体形、「-したことがある」	大声でパターンを暗記する。	60分
7	動詞の未来連体形、「-するつもりです」	大声でパターンを暗記する。	60分
8	形容詞の現在連体形、名詞文の現在連体形	大声でパターンを暗記する。	60分
9	「-するのですが」、「-するのに」、電話の表現	大声でパターンを暗記する。	60分
10	「ㄹ不規則活用」、「-から、-ので」、天気 の表現	大声でパターンを暗記する。	60分
11	「ㄷ不規則活用」、「-なければなりません」	大声でパターンを暗記する。	60分
12	「ㅁ不規則活用」、病気の表現、 「-ために、せいで、-するため」	大声でパターンを暗記する。	60分
13	「ㄹ不規則活用」、「-するじゃないですか」	大声でパターンを暗記する。	60分
14	「ㅎ不規則活用」、「-してみる」、色 の表現	大声でパターンを暗記する。	60分
15	「ㄹ不規則活用」、不規則の表現の総復習	大声でパターンを暗記する。	60分
16	「- (으) ㄹ게요 (意思・約束・決意)」	大声でパターンを暗記する。	60分
17	「-아/어 있다 (完了状態の継続)」	大声でパターンを暗記する。	60分
18	「-しないでください」、「-しないで-」	大声でパターンを暗記する。	60分
19	「-そうだ」、「-と思う」	大声でパターンを暗記する。	60分
20	「-する前に」、「-した後」	大声でパターンを暗記する。	60分

21	「ーする方です」	大声でパターンを暗記する。	60分
22	「ーく／ーに／ーするように」、「ーになる」	大声でパターンを暗記する。	60分
23	「ーてからー経つ」、「ーしようと思う」	大声でパターンを暗記する。	60分
24	「ーすること」、「ーさ」	大声でパターンを暗記する。	60分
25	「ーでしょう／ーでしょうね」、 「ーするとき／ーしたとき」	大声でパターンを暗記する。	60分
26	「ーしてあげる／ーしてくれる」、 「ーく見える」	大声でパターンを暗記する。	60分
27	「(意思) ーします」、「(願望) ーたらよいですね」	大声でパターンを暗記する。	60分
28	「ーくなる／ーになる」、「ーしていた名詞」	大声でパターンを暗記する。	60分
29	間接話法 (疑問文と平叙文)	大声でパターンを暗記する。	60分
30	間接話法 (命令文と勧誘文)	大声でパターンを暗記する。	60分

⑫ アクティブラーニングについて
読み書き能力の確認のため、簡単な小テストを行う。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性